

事業番号	05 11 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	動物愛護管理対策事業	部局	健康福祉部	課・室	食品・生活衛生課
		実施期間	H25～	E-mail	shokusei@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	県民一人当たり家計可処分所得				
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減				

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 人と動物が共生する潤い豊かな社会の実現を目指し、動物愛護の普及啓発の推進と適正な飼養管理の推進を図る。動物介在活動を通じ、困難を抱える子どもを支援するとともに、各地域で独自に動物介在活動ができるよう基盤づくりを進める。	
	【これまでの取組】 <ul style="list-style-type: none"> 動物の飼養管理に関する相談の助言指導 困難を抱える子どもへの動物介在活動(ハローアニマル子どもサポート含む) しつけ方教室の実施 	
令和2年度点検結果 現状分析	課 題	今後の方向性
	動物の愛護及び管理に関する法律に基づき長野県動物愛護管理推進計画を定め各施策を推進しており、現時点までに計画による目標は概ね達成している。	国から改正法及び改正基本指針が示されたことから、改めて県内の現状を把握するとともに、推進計画について必要な見直しを行う。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓動物愛護管理施策の推進 環境大臣が定めた基本指針に基づき、本県の動物愛護管理に係る施策を総合的かつ計画的に推進するため「長野県動物愛護管理推進計画」を策定し施策を推進している。 <基本理念> 人と動物が共生する潤い豊かな社会の実現 <基本目標> <ul style="list-style-type: none"> 動物愛護の普及啓発の推進：教育・広報活動、ボランティア育成、動物愛護フェスティバル開催、災害対策強化等 適正な飼養管理の推進：犬猫の引取り数・致死処分頭数減少、所有者明示実施率向上、危害・迷惑防止等
	✓困難を抱える子どもへの動物介在活動による支援事業 動物愛護センター(ハローアニマル)を拠点として行っている、動物介在活動を通じて不登校やひきこもりなどの困難を抱える子どもを支援する事業を、長野県総合5か年計画「幸せ信州創造プラン2.0」において自殺対策事業のひとつとして位置づけ、独自に動物介在活動を行うことができる基盤づくりを目的として県内各地で独自に動物介在活動を行うことができる基盤づくりを目的として実施。 <ul style="list-style-type: none"> ハローアニマル子どもサポート おでかけハローアニマル子どもサポート：発達心理カウンセリングセミナー、ふれあい活動、個別相談 セラピーアニマルサポーター養成講習会

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値		事業コスト	R1年度	R2年度	R3年度		
1	収容犬猫の返還・譲渡率	74.8%	70.1%	↓	75%	↑		80%	前年度繰越	0	0	要求
2	動物ふれあい事業の参加者人数	9,368	7,505	↓	7,500	→	10,000人	当初予算	177,504	107,951	予算案	—
3	ハローアニマル子どもサポートプログラムに参加した児童生徒の人数	41	45	↑	45	→	40人	補正予算	-9,515	-844	要求	112,858
4								合計(A)	167,989	107,107	予算案	—
5								うち一般財源	94,802	94,055	要求	96,651
								決算額(B)	162,342		予算案	—
								職員数(人)	31.0	31.0		31.0
成果指標設定理由	①動物愛護管理推進計画に犬・猫の致死処分頭数を減らすための具体的な対策として、収容犬猫の返還率や譲渡できる犬猫についての譲渡率が指標となるため設定した。 ②動物ふれあい事業は動物愛護の普及啓発の要となるため指標として設定した。 ③ハローアニマル子どもサポート事業拡充により、参加した児童生徒が在家ではなく、外で活動できた指標となるため設定した。											